

令和2年度事業実施報告書

《事業実施内容》

1 国民体育大会への参加支援

(公財)日本スポーツ協会、文部科学省及び開催地の都道府県が共同して開催する国民体育大会に本県代表選手を選抜し、長野県選手団の派遣を予定していたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、第75回国民体育大会(鹿児島県)の延期をはじめ、多くの大会が中止になった。

(1) 国民体育大会予選会の開催

国民体育大会の参加に向け、各競技における本県の代表となる優秀な選手を選抜するため、各競技団体が主催する予選会を共催者として支援した。

(2) 第41回北信越国民体育大会への選手団派遣

富山県で開催される予定であったが、新型コロナウイルス感染症の影響により中止となった。

(3) 第75回国民体育大会への選手団派遣

鹿児島県で開催される予定であったが、新型コロナウイルス感染症の影響により令和5年に延期になった。

(4) 第76回国民体育大会冬季大会への選手団派遣

ア 1月27日から1月31日までの5日間、岐阜県(恵那市)で開催されたスケート(スピード)競技会、及び愛知県で開催されたスケート(フィギュア・ショートトラック)・アイスホッケー競技会に、長野県選手団99名を派遣した。

成績はスケート競技、男女総合2位(195.0点)、女子総合1位(104.0点)であり、アイスホッケーは12位(10.0点)であった。

イ 秋田県(鹿角市)で開催される予定であったスキー競技会は、新型コロナウイルス感染症の影響により中止となった。

ウ 冬季大会終了時では男女総合(天皇杯)2位(205.0点)、女子総合(皇后杯)1位(104.0点)である。

(5) マルチサポート事業の実施

北信越国体及び本大会に県代表として出場する候補選手及び候補チームの強化合宿や練習日へ、スポーツドクター・栄養士・薬剤師・トレーナー・特殊技術スタッフ等を派遣し、障害予防・応急処置、コンディショニング、メンタルトレーニング、栄養指導、ドーピング・サプリメント指導、メカニックの特殊技術の提供等のマルチサポートを実施した。

(6) 国体選手団ユニフォームの購入助成

本年度は、助成の対象がなかった。

(7) 企業訪問

新型コロナウイルス感染予防の観点から実施しなかった。

(8) 国体参加選手等への激励

本県代表として国体に参加する選手等に対し、激励品を贈り支援した。

(9) 国体参加選手へのサポート体制の充実

国体期間中に参加選手の競技力の向上のためのサポート員への帯同費等を支援した。

2 競技力向上事業の推進

(1) 指導者の養成

「指導者ミーティング」及び「長野県スポーツ指導者研修会」について、新型コロナウイルス感染予防の観点から開催を中止とした。

(2) 競技力向上のための環境整備

本会が所有する馬2頭の管理経費について、県馬術連盟に補助した。

(3) 競技者就業等支援

競技者が地元で活躍できる環境整備のため、県教育委員会が行うアスリート就職支援事業に協力した。

3 競技者育成（SWANプロジェクト）事業の推進

冬季競技において優れた素質を有する競技者を早期に発掘し、国際舞台で活躍できるアスリートを組織的・計画的に育成するため、SWANプロジェクトを関係競技団体、(公財)日本オリンピック委員会、(独)日本スポーツ振興センター等と連携して推進した。

○実行委員会 2回開催、選考部会 5回開催、育成部会 2回開催

○選考会 1次：令和2年10月17日 長野市

2次：令和2年11月8日 長野市

○開講式 開催日：令和2年11月28日 場所：長野市エムウェーブ

○実施回数 33回

4 競技者等のサポート

(1) 医科学サポート

選手がベストな状態で競技に臨めるよう、北信越監督会議に併せ研修会を実施する予定であったが、北信越大会の中止に伴い中止した。

(2) ドーピング防止の教育と啓発

スポーツ選手による薬物の乱用や誤用を防ぎ、健全なスポーツ活動を推進するため、選手や指導者を対象とした教育・啓発活動を実施した。

5 長野県スポーツ少年団の育成

○令和2年度（9月30日現在）における登録市町村数は40市町村で、単位団体509団、団員12,419名、指導者等3,169名となっている。

(1) 交流交歓

新型コロナウイルス感染症の影響により、競技別交流大会をはじめ、交流交歓事業が中止となった。

(2) リーダーの育成

新型コロナウイルス感染症の影響により「ジュニア・リーダースクール」の開催、「シニア・リーダースクール」への団員の派遣を中止した。

(3) 指導者の育成

指導者・役員ならびに保護者をはじめとする母集団関係者の参集を得て、スポーツ少年団の理念や少年スポーツ指導のあり方等を学ぶため指導者・母集団育成講習会等を開催した。

| | 開催日 | 開催市町村 | 参加者数 |
|-------|------------|-------|------|
| ・南信地区 | 令和2年11月29日 | 高森町 | 15名 |
| ・中信地区 | 令和2年3月25日 | 松本市 | 30名 |

(4) 市町村少年団への支援

新型コロナウイルス感染症の影響により、各種大会の中止や活動自粛を余儀なくされている市町村のスポーツ少年団を支援するため37団体に支援金を交付した。

6 スポーツ普及・交流事業の推進

地域住民のスポーツへの関心を高め、スポーツへの参加を促すため、各競技団体及び郡市体育・スポーツ協会が実施するスポーツ教室・スポーツ大会に対し支援を実施した。

7 総合型地域スポーツクラブの育成支援

生涯スポーツ社会の実現に向け、(公財)日本スポーツ協会事業によりクラブアドバイザーを配置し、県(スポーツ課、体育センター、教育事務所)と連携し総合型地域スポーツクラブの育成を推進した。

8 スポーツに関する情報提供

各競技会の成績や本会のスポーツに関する取組状況などを提供することにより、県民のスポーツへの関心を高め、もって本県のスポーツの振興と県民の体力向上を図るため、隔月刊「県スポだより」及び年刊「県スポながの」を発行した。

また、本会ホームページ及びマスメディア等の活用により、スポーツに関する情報提供に努めた。

9 スポーツ振興功績者の表彰

本会表彰規程により、体育・スポーツの振興に功績のあった個人及び団体を表彰するとともに、国民体育大会等において優秀な成績を収めた者に対し記念品を贈り、県民のスポーツに対する意識の高揚とスポーツの振興を図った。

○スポーツ振興功績者表彰

有功章：個人 27名、団体 6

栄光章：個人 4名、団体 1

勲功章：2名

○国体等優勝者記念品贈呈

第76回国民体育大会冬季スケート競技会：9名

令和2年度全国高等学校総合体育大会：10名

10 寄附者の確保

新たな寄附者の開拓を図るため、企業等への協力依頼をするほか、広く県民から賛助会員を募り、県民のスポーツに対する意識の高揚とスポーツの振興を図った。

○賛助会員総数 (法人加入：115 個人加入：104)

うち新規会員 (法人加入：6 個人加入：8)

11 第19回日韓青少年冬季スポーツ交流

新型コロナウイルス感染拡大の影響により中止が決定された。

なお、代替措置として、参加経験者によるSNSを活用したオンライン交流を実施した。

12 関連事業への協力

(1) 県教育委員会が策定した「長野県スポーツ推進計画」(計画期間：平成30年度～令和3年度)に基づき、体育・スポーツ振興施策の推進を支援した。

(2) 平成24年7月に締結した「スポーツによる元気な信州づくり包括連携協定」に基づき、各団体と連携しながら、スポーツを通じた長野県を元気にする取組を進めた。

13 その他

(1) ガバナンスの確保

加盟団体のガバナンス強化のため、令和元年度にスポーツ庁で制定した「スポーツ団体ガバナンスコード」の周知徹底を行うとともに、適切な組織運営が図られるよう支援を行った。

また、本会の定款等の改正を行い、コンプライアンスや加盟団体への指導、助言及び支援に関する規定を明記した。

なお、本会のガバナンスコードの遵守状況については、3月にホームページで公表した。

(2) 長野県スポーツ（体育）協会史の編纂

昭和63年に発刊した長野県体育協会史の続編である「長野県スポーツ（体育）協会史」を令和3年秋に発刊するよう編纂作業を進めた。

(3) 加盟競技団体への支援

新型コロナウイルス感染症の影響により、各種大会や競技会の中止等、団体の運営に多大な影響をもたらしている状況の中、新型コロナウイルス感染防止対策を講じながら活動を行った加盟競技団体（53団体）に対し支援金を交付した。